

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・児童理解に努め、学習内容を精選し指導方法を工夫しながら、基礎学力の定着と伸長を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して実践力や判断力の向上を図る。

3 年間授業時数等

指導形態	教科等	努 力 点						1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
教科別領域別の指導	国 語	・言語環境を整え、言葉を大切にし、自分の思いを表現する力を育てる。						3 0 6	3 1 5	2 4 5	2 4 5	1 7 5	1 7 5	
	社 会	・体験的・作業的学習を重視し、社会生活についての基礎的理解と地域学習の推進を図り、地域社会の成員としての自覚を養う。								7 0	9 0	1 0 0	1 0 5	
	算 数	・生活経験と関連付けた学習の展開に努め、数量や図形に関する基礎的な知識や技能を養う。						1 3 6	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5	1 7 5	
	理 科	・観察・実験等の直接体験を重視した学習内容を組織し、自然に接する意欲や心情を育て問題解決の能力を育てる。								9 0	1 0 5	1 0 5	1 0 5	
	生 活	・具体的な活動や体験を重視して、身近な社会や自然への関心を高めるとともに、意欲的に活動する態度を養う。						1 0 2	1 0 5					
	音 楽	・歌唱・器楽・鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさを感じ取らせ、豊かな情操を養い、音楽に親しむ態度や意欲を育成する。						6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0	
	図画工作	・一人ひとりの思いを大切にいろいろな素材を使って表現することや創り出すことの喜びを味わわせる。						6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0	
	家 庭	・自分を取り巻く生活に目を向け、よりよい生活をしようとする態度を養い、生活に必要な基礎的な技能の定着を図る。										6 0	5 5	
	体 育	・個々の障がいの実態に応じて、安全に留意しながら運動に親しむ態度や能力を育てるとともに、健康の維持増進・体力の向上を図る。						3 4	3 5	3 5	3 5	2 0	2 0	
	道 徳	・価値を主体的に自覚させる指導方法の工夫に努め、目標に向かって積極的に取り組む態度とともに認め合い支え合う心情を育てる。						3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	
	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導法の充実に努める。 ・教育活動全体を通して指導の効果を上げるように努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。						1 8 2	1 8 7	1 8 7	1 8 7	1 8 7	1 8 7	
総合的な学習の時間		・興味・関心に基づく活動を通して、問題意識をもち、主体的に取り組もうとする態度を育成する。								7 0	7 0	7 0	7 0	
外国語活動		・生活や体験と結び付けて外国語に親しみ、簡単な表現に興味・関心をもてるようにする。										3 5	3 5	
計								9 3 0	9 9 2	1 0 2 7	1 0 6 2	1 0 6 2	1 0 6 2	
特別活動	学級活動	・学校生活をよりよくしていこうとする意欲や態度を育てる。 ・集団での活動を通し自発的に活動しようとする意欲を育てる。						3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	
	クラブ活動	・望ましい人間関係作りと個性の伸長を図る。 ・集団の一員として自主的、実践的な態度を育てる。									1 0	1 0	1 0	
	学校行事	4 月	着任式・始業式 入学式 身体測定	7 月	宿泊学習 終業式	10 月	避難訓練 皆生・ブライト・フェスティバル		1 月	始業式	1 年	3 0	4 年	3 1
		5 月	校外学習 避難訓練	8 月	始業式	11 月			2 月		2 年	3 1	5 年	3 1
		6 月	皆生スポレク祭	9 月	修学旅行	12 月	終業式		3 月	卒業式 修了式・離任式	3 年	3 1	6 年	4 2

4 児童の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるために、行動が制約される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・障がいの多様化に伴い、個に対応した指導内容の工夫が必要である。

5 研究課題

「
」

6 特色ある教育活動

- ・本校と近接する3小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

7 備考

〈授業日数〉

学年／月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計
1 年	1 4	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	1 6	2 0 0
2 年～5 年	1 5	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	1 6	2 0 1
6 年	1 5	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	9	1 9 5

＊授業の1 単位時間は4 5 分とする

＊給食時間に給食指導を毎日3 0 分、自立活動として実施する。総計1 1 7 （1 年生は1 1 4）時間。

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・児童理解に努め、学習内容を精選し指導方法を工夫しながら、基礎学力の定着を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して実践力や判断力の向上を図る。

3 年間授業時数等

指導形態	教科等	努 力 点						1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
教科別領域別の指導	国 語	・言語環境を整え、言葉を大切にし、自分の思いを表現する力を育てる。						2 3 8	2 4 5	2 1 0	2 1 0	1 7 5	1 7 5		
	社 会	・社会の様子や働きに関心を持ち、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を育てる。								6 0	8 0	8 0	8 0		
	算 数	・指導内容の精選を図り、生活経験と関連付けた学習の展開に努め、数量や図形に関する生活上必要な知識・技能を養う。						1 3 6	1 7 5	1 6 0	1 6 5	1 6 5	1 6 5		
	理 科	・自然の仕組みや働きに関心を持ち、自然を愛する豊かな心情を養う。								8 0	9 0	8 5	9 0		
	生 活	・具体的な活動や体験を重視して、身近な社会や自然への関心を高めるとともに、意欲的に活動する態度を養う。						6 8	7 0						
	音 楽	・歌唱・器楽・鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさを感じ取らせ、豊かな情操を養い、生活を明るく楽しいものにする態度を育てる。						6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0		
	図画工作	・児童の思いや意図を尊重し、表現することの喜びを味わわせることに努める。						6 8	7 0	6 0	6 0	5 0	5 0		
	家 庭	・生活に必要な技能の習得を図る。										6 0	5 5		
	体 育	・個々の障がいの実態に応じて、安全に留意しながら運動の特性を味わわせ、健康の維持増進・体力の向上を図る。						6 8	7 0	7 0	7 0	7 0	7 0		
	道 徳	・価値を主体的に自覚させる指導方法の工夫に努め、目標に向かって積極的に取り組む態度とともに認め合い支え合う心情を育てる。						3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5		
	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導法の充実に努める。 ・教育活動全体を通して指導の効果を上げるように努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。						2 5 0	2 5 7	2 2 2	2 2 2	1 8 7	1 8 7		
総合的な学習の時間		・興味・関心に基づく活動を通して、問題意識をもち、主体的に取り組もうとする態度を育成する。								7 0	7 0	7 0	7 0		
外国語活動		・身の回りの外国語に親しみ、簡単な表現に興味・関心がもてるようにする。										3 5	3 5		
計								9 3 0	9 9 2	1 0 2 7	1 0 6 2	1 0 6 2	1 0 6 2		
特別活動	学級活動	・学校生活をよりよくしていこうとする意欲や態度を育てる。 ・集団での活動を通し自発的に活動しようとする意欲を育てる。						3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5		
	クラブ活動	・興味・関心のある活動を楽しもうとする意欲を育てる。 ・集団の一員として協力する態度を育てる。									1 0	1 0	1 0		
	学校行事	4 月	着任式・始業式 入学式 身体測定	7 月	宿泊学習 終業式	1 0 月	避難訓練 皆生・ブライト・フェスティバル		1 月	始業式		1 年	3 0	4 年	3 1
		5 月	校外学習 避難訓練	8 月	始業式	1 1 月			2 月			2 年	3 1	5 年	3 1
6 月		皆生スポレク祭 宿泊学習	9 月	修学旅行	1 2 月	終業式		3 月	卒業式 修了式・離任式		3 年	3 1	6 年	4 2	

4 児童の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるため行動が制限される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・下学年適用による個に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫が必要である。

5 研究課題

「
」

6 特色ある教育活動

- ・本校と近接する3小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

7 備考

〈授業日数〉

学年 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計
1 年	1 4	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	1 6	2 0 0
2 年～5 年	1 5	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	1 6	2 0 1
6 年	1 5	2 1	2 1	1 4	3	1 9	2 1	2 2	1 5	1 6	1 9	9	1 9 5

＊授業の1単位時間は45分とする。

＊給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。総計117(1年生は114)時間。

- 1 教育目標
- 一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～
- 2 努力点・重点
- ・児童理解に努め、個の発達に応じた指導の充実を図る。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して、自主性、社会性の育成を図る。
- 3 年間授業時数等

指導形態	教科等	力 点					Ⅰ 型		Ⅱ 型		Ⅲ 型			
教科領域別の指導	国 語	・言語環境を整え、日常生活の中で使える表現の拡大を図るように努める。					1 4 0 ～ 1 7 5		3 5 ～ 1 4 0					
	算 数	・生活経験と関連付けた具体的な操作活動を大切にし、数量や形への関心が高まるように努める。					1 0 5 ～ 1 4 0		3 5 ～ 1 0 5					
	音 楽	・音楽的な芽生えを大切にし、身体表現・歌唱・鑑賞・器楽等の活動を通して、音楽の楽しさを味わうことができるように努める。					7 0		7 0		0 ～ 3 5			
	体 育	・教材教具を有効に活用し、身体を動かすことの喜びや、友達とかかわる楽しさを味わうことができるように努める。					7 0		7 0					
	図画工作	・身近な材料や用具を使った造形活動を通して、造形表現についての興味や関心をもち表現の喜びを味わせるように努める。					7 0		0 ～ 7 0					
	道 徳	・適切な資料選択と指導方法の工夫に努め、道徳的心情を高めるとともに、周囲とのかかわりの中で自分の思いをのびのびと表現する力を育てる。												
	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導方法の充実に努める。 ・生活全般を通して指導の充実に努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。					1 8 7 ～ 3 9 7		1 8 7 ～ 6 4 2		6 0 7 ～ 7 4 7			
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・日常生活に必要な基本的生活習慣の定着を図る。					0 ～ 1 7 5		1 0 5 ～ 1 7 5		1 7 5			
	生活単元学習	・児童の興味・関心に基づいた題材や遊びを通して、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促し、自発的・自主的に活動しようとする意欲を育てる。					7 0 ～ 1 4 0		7 0 ～ 2 8 0		7 0 ～ 1 4 0			
	ゴーゴータイム	・音楽や動きの変化に気づき、音楽に合わせて身体を動かす楽しさを感じられるようにするために、活動に合わせた音楽や音の種類、テンポ等を工夫する。 ・個々の児童に必要な感覚刺激が適切に受け入れられるように、器具や遊具等を使った活動や場の設定の工夫に努める。 ・集団で楽しく活動する経験を通して、他者への意識や関わりを広げられるようにする。									7 0			
計							9 5 7 ～ 1 0 6 2		9 5 7 ～ 1 0 6 2		9 5 7 ～ 1 0 6 2			
特別活動	学級活動	・個に応じた指導を充実し、基本的生活習慣を身に付け、楽しい学校生活を送ることができるように努める。 ・集団で活動する楽しい体験を通して、自発的に活動しようとする意欲を育てる。					3 5		3 5		3 5			
		クラブ活動 ・興味や関心のある活動を通して生活経験を広げる。 ・集団活動の中で、役割を担ったり、人との関わりを持とうとしたりする意欲を育てる。					4 年生以上 1 0							
	学校行事等	4 月	着任式 始業式 入学式 身体測定	7 月	宿泊学習 終業式	10 月	避難訓練 皆生・ブライト・フェスティバル		1 月	始業式	1 年	3 0	4 年	3 1
		5 月	校外学習 避難訓練	8 月	始業式	11 月			2 月		2 年	3 1	5 年	3 1
		6 月	皆生スポレク祭 宿泊学習	9 月	修学旅行	12 月	終業式		3 月	卒業式 修了式 離任式	3 年	3 1	6 年	4 2

- 4 児童の実態、特性
- ・障がいは重度・多様化（知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい等）傾向にあり、生活全般に介助を要する。
- ・障がいがあるため行動が制約される傾向にあり、体験拡大に支援を要する。
- ・日常的に医療的ケアを必要とする児童が増えている。
- ・障がいの多様化に伴い、個に対応した指導内容の工夫が必要である。
- Ⅰ型：中程度の知的障がいを有する児童が多く、知的障がい教育課程の教科学習を中心にした指導が適している。
- Ⅱ型：重度の知的障がいを有する児童が多く、個別と小集団での学習を組み合わせることにより、より高い学習効果が期待できる。
- Ⅲ型：より重度の知的障がいを有する児童が多く、個々の児童の課題解決のためには個別を主とした学習形態のほうが適している。
- 5 各教科等を合わせた指導について
- 日常生活の指導：Ⅰ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）
Ⅱ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）
Ⅲ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動）
- 生活単元学習：Ⅰ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）
Ⅱ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）
Ⅲ型（生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳、自立活動、特別活動）
- ゴーゴータイム：Ⅲ型（音楽、体育、生活、道徳、自立活動）

- 6 研究課題
- 「
」
- 7 特色ある教育活動
- ・本校と近接する３小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

- 8 備考
- 〈授業日数〉

学年 月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計
１年	１４	２１	２１	１４	３	１９	２１	２２	１５	１６	１９	１６	２００
２年～５年	１５	２１	２１	１４	３	１９	２１	２２	１５	１６	１９	１６	２０１
６年	１５	２１	２１	１４	３	１９	２１	２２	１５	１６	１９	９	１９５

※授業の１単位時間は４５分とする

※道徳にあっては、全教科・全領域で指導する。

※個に応じた指導を重視し、必要に応じて授業時間数に幅をもたせる。

※給食時間に給食指導を毎日３０分、自立活動として実施する。総計１１７（１年生は１１４）時間。

※教科領域別の指導と各教科等を合わせた指導の合計時間数は、１年生９５７、２年生９９２、３年生１０２７、４年生以上１０６２時間。

平成 24 年度 鳥取県立皆生養護学校小学部（訪問学級）教育課程

1 教育目標

一人一人が輝く子どもの育成
～友だち大好き 学校大好き～

2 努力点・重点

- ・家庭や他の教員との連携を密にし、児童理解に努め、個の発達に応じた指導の充実を図る。
- ・医療諸機関との連携のもとに、感覚・運動等の機能の向上に努める。
- ・継続、発展していく体験的活動を推進して、社会性の育成を図る。

3 年間授業時数等

指導形態		教科等		努 力 点						
教科別・領域別の指導	道 徳	・いろいろな経験を通して生活する楽しさを味わおうとする態度の育成に努める。				3 5 ～ 2 8 0				
	自 立 活 動	・教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容及び指導法の充実に努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。								
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・日常生活に必要な基本的生活習慣の定着を図る。				0 ～ 2 4 5				
	生活単元学習	・児童の興味・関心に基づいた題材や遊びを通して、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促し、自発的・自主的に活動しようとする意欲を育てる。								
計						7 0 ～ 2 8 0				
特別活動	学校行事	4 月	着任式 始業式 入学式 身体測定	7 月	終業式	10 月	皆生・ブライト・フェスティバル、避難訓練	1 月	始業式	合計
		5 月	避難訓練	8 月	始業式	11 月		2 月		1、6 年 6 ～ 2 4
		6 月	皆生スポレク祭	9 月		12 月	終業式	3 月	卒業式 修了式 離任式	2 ～ 5 年 6 ～ 2 5

4 児童の実態、特性

- ・生活全般にわたって介助を要する。
- ・日常的に医療的ケアを要する。
- ・感情の発達が未分化で自己表出の力が弱い。

5 各教科等を合わせた指導について

生活単元学習：生活、国語、算数、音楽、体育、図画工作、道徳、自立活動、特別活動
日常生活の指導：生活、国語、算数、音楽、体育、図画工作、道徳、自立活動

6 研究課題

「 」

7 特色ある教育活動

- ・家庭や地域の医療機関や行政・福祉機関と密接な連携を保って指導する。
- ・体験的活動を大切にし、人や物へ関わる力の育成に努める。

8 備考

〈授業日数〉

- ・授業の1単位時間は45分とする。
- ・1回の授業は2単位時間とする。
- ・道徳にあっては、全教科・全領域で指導する。
- ・自立活動にあっては、個に応じた指導を重視し、必要に応じて授業時間数に幅をもたせる。
- ・各教科等を合わせた指導は、児童の実態に応じて、必要な授業時間数を確保する。
- ・授業回数は実態に合わせて、1週間に4回までをめどに実施する。